

(一般質問)

伊井澤 一 郎

- 1 旧市内の食糧・食品流通変動に伴う卸売業、小売店、大型店の出店・閉店が多くなっている。この現状を踏まえた行政の対応策について伺いたい。
  - (1) 糸魚川市内における卸売業、小売店の推移についてと今後の大型店の進出状況を伺いたい。
  - (2) 市内大型店の出店の認可、届け出に対して、市のかかわりがあるか伺いたい。
  - (3) 市内食糧品の流通は一部を除き市外から入ってきていますが、地産地消と安全安心食品が求められている中、行政の考えを伺いたい。
  - (4) 市内卸売業、小売業、大型店舗の撤退閉店も考えられますが、消費者の立場に立って支援されるか伺いたい。
  - (5) 市内の食糧流通の発展を考えた中で、市の条例の制定の考えを伺いたい。
- 2 糸魚川市内小中学校統合による校舎跡地利用について  
特に、旧南・北西海小学校につきまして統合以来、要望、質問をしましりましたが、利用計画が変更され具体的にありません。今後の取り組みについて伺いたい。
  - (1) 旧南西海小学校校舎跡地利用は、福祉施設として平成22年までに開設利用する計画となっておりますが、計画変更がないのか伺いたい。
  - (2) 旧北西海小学校は校舎を解体し、体育館は市の除雪機他の車庫として活用していますが、車庫の利用計画の見通しについて伺いたい。
  - (3) 旧北西海小学校跡地については、市が整地をしましたが、地権者にお返しする面積に応じた区画となっているか伺いたい。
  - (4) これまで地権者の皆様と説明会、話し合い協議が何回持たれたのか。地権者の理解が得られているか伺いたい。
  - (5) 旧北西海小学校の借地面積が広いので、行政での活用計画があるか伺いたい。
- 3 糸魚川市のゴミ収集と処理施設について  
市では市民、事業所のゴミ収集は業者委託をお願いをしていますが、収集業者への支援・指導と市民への対応がされているか伺いたい。
  - (1) ゴミ収集委託業者に対して、施設、設備に行政の支援・指導がされるのか。また、地区住民と業者との問題に、行政が中心となり話し合いを進められていくのか伺いたい。
  - (2) ゴミ収集で、リサイクルできる物について、入札制度を取り入れることになったが、スムーズに進められるか伺いたい。
  - (3) ゴミ収集は年々多くなっていますが、有害物、他の分別が適正に処理をされていてトラブルがないか伺いたい。
- 4 市内携帯電話の不感地域対応について  
不感地域対応については行政支援をしていただきましたが、地域によりま

だ電波の入らないところがあります。

今後の対応策についての考えを伺いたい。

- (1) 市内の携帯電話不感地区が平成20年度に解消される見込みになります。行政は1社の電波が入れば解消との考えであります。山間地ではまだ不感地域があります。

今後の調査と支援策を伺いたい。

- (2) 日本初、世界を目指したジオパーク認定に大変な努力をされていますが、市内24ジオサイトの中で携帯電話が使用できない地区もあります。

今後の対応策があるか伺いたい。

- (3) 市内全体の中で、1社の電波も入らない地区があります。各電話会社に今後も要望をお願いしたい。

行政としての調査をされるのか伺いたい。

## 笠原幸江 1 評価されるこれからの観光振興について

当市の総合計画に示されている観光振興の現状と課題、施策の方向等、多岐にわたり分析検討されているところですが、行政改革大綱・推進計画（実施計画）で示されている当市内の観光協会の合流は、これからの糸魚川市の発展のためにも欠かせないものと考えます。

特に宣伝の促進として、観光客のニーズに対応した情報提供が求められているところです。県内のみならず県外、国外からの交流人口拡大のためにも当市に訪れていただくことこそが重要です。

当市は3年かけて観光協会合流の調整がされているうちに他市では進化するための作業が着実に進んでいます。

糸魚川市の観光協会が一丸となって情報発信するためにも今までの内向き志向から外向き志向にチェンジすることが急務です。

それぞれの観光協会と行政が一緒になり観光振興を進めなければならないと思います。糸魚川市のこれからの観光振興を促進するために市長の考えを伺います。

- (1) 現在の糸魚川市観光協会と青海町観光協会と能生町観光協会の合流の経過などについて

観光協会で企画立案した事業の経過は。

実施計画の中で謳われている観光協会の自立、自主運営体制の確立をするための支援とはどのような取り組みなのか具体的に聞きたい。

ジパング倶楽部に掲載された企画で誘客につながっている意義が大きいがその経過は。

- (2) 職員や協会の人材育成などについて

有資格者の配置の考えは。

観光情報の発信、宣伝営業など専門性の考えは。

- (3) これからの糸魚川市観光協会のありようについて  
合流後の組織体制に対する取り組みの考えは。  
観光客のニーズに対応するための総合窓口の設置は。

五十嵐 哲 夫 1 観光振興について

新幹線開通もジワリジワリと近づき、日本ジオパークに認定され、世界ジオパーク認定に向けて糸魚川市としてもますます力が入っていることと思います。以前一般質問でも述べましたが、これをきっかけに糸魚川市の観光面で磨きをかけてもらいたいし、市民の機運も高まりつつあるわけですが、その一方でまだまだ「ジオパーク」が浸透しきっていないという点も見受けられます。

これまでも観光に関してはソフト面での整備が急務だと議会からも、市民の数あるグループからも意見が出ていたかと思います。新幹線が開通しようが、世界ジオパークに認定されようが、中身が魅力的な「糸魚川市」でなければ成果が出てきません。

今後、数ある課題についてどのように対応し、解決していくのが市長の考えを伺います。

- (1) 世界ジオパークに向けての現状とこれからの課題、またその課題の対策について市長の考えをお聞かせください。
- (2) 具体的な課題として以下の点についてお聞かせください。
- 市民の認知度について
  - 観光客の受入体制について
  - 情報発信について
  - 学の利用について
- (3) 世界ジオパーク登録に向けて、糸魚川市の観光全般に対する市長の描くビジョンはどのようなものか。各産業・分野別に具体的なビジョンも伺いたい。
- (4) 観光全般に対する現状と課題、対策についてどのように考えているか。
- (5) 観光課設置についてどう考えるか。

+

斉 藤 伸 一 1 行政改革の取組状況について

平成18年3月に「糸魚川市行政改革大綱・推進計画」を策定し、実施計画も毎年ローリングにより、行政改革を効果的かつ重点的に取り組み、推進しておりますが、議会における行政改革調査推進特別委員会が解散したことから、現在の行政改革の取り組みがどのように行われているのか、範囲が多岐にわたることから、以下の項目に絞り込んで伺います。

- (1) 行政改革推進体制

行政改革推進本部、集中推進会議、担当部署の実施状況及び取り組み

糸魚川市行政改革推進委員会の実施状況及び取り組み

市議会との連携状況

(2) 市民と行政の情報共有

市民への広報状況

市民からの意見・提言状況

出前講座の実施状況

(3) 組織・機構の見直しと、職員管理

部制の成果と制度についてどのように考えているか。

職員提案による行政事務の改善状況

職員の安全衛生管理状況

職員の資質向上及び地域への貢献状況

高 澤 公 1 ジオパークの対応について

去る10月20日、日本ジオパーク委員会から、糸魚川ジオパークが世界ジオパーク申請地に決定した旨の連絡が入りました。

順調に進めば、来年秋には世界ジオパークネットワークに組み込まれることと思います。

これまでの米田市長のご活躍には大いに敬意と賛辞を送りたいと思います。

さて、糸魚川市ホームページには、ジオパークの効果としていくつかの項目が載せてあります。しかし、市ではそれらの目的達成のためにどのように動くのか、行動計画が示されていません。

ジオパークの取り組みは、認定されることが目的ではなく、その資源を地域発展のためにいかに有効に使うかが、認定地に与えられた使命だと思いますがいかがですか。

ジオパーク効果の取り組みについて伺います。

野 本 信 行 1 平成21年度予算編成の重点的事業推進の方針について

1市2町が合併して5年目に入ります平成21年度予算編成に当たり、米田市長も来期2期目に挑戦されるとの表明をされており、この4年間の市政運営の成果と課題から、どのような基本方針で庁内に指示されているのか、下記について伺います。

(1) 4年間の全体的な自己評価について

(2) 主な見直し事業について

(3) 主な重点・新規事業の展開について

(4) 行財政改革の推進策について

(5) 「事業・施設仕分け」手法の研究結果について

2 糸魚川市公共諸施設全体の耐震化進捗状況について

これまでも議会一般質問で質疑が行われておりますが、市民の安心・安全

を確保する市政の基本から、平成21年度以降の公共諸施設の耐震化事業の進捗状況と、今後の促進策について、糸魚川、能生、青海各地域別に伺います。

- (1) 市内幼稚園・保育所の進捗状況について
- (2) 市内小・中学校の進捗状況について
- (3) 市内公民館など公共集会施設の進捗状況について
- (4) 平成21年度以降の重点耐震化推進計画について
- (5) 想定される耐震化総事業費の概算について

平野久樹 1 人事行政全般について

2008年10月27日発行の「おしらせばん」によると、今年度の人事行政についての運営状況が報告されていますが、その中から数点質問いたします。

(1) 定員適正化計画について

昨年度に新しい定員適正化計画を発表しましたが、今年の発表では目標が変更されています。今後においても毎年目標は変更していくのか。

平成22年度末に597人、平成26年度末では562人との目標を立てているが、どのように進めるのか。

臨時職員の数が記載されていないが、トータル管理すべきではないのか。

(2) 職員の給与の状況について

職員給与について臨時職員を加えて比較すべきではないのか。

(3) 人事考課制度の進捗について

平成18年8月から試行として取り組みを開始し、本格導入に向けて制度の検証を進めているとあるが、本格導入はいつを目標としているのか。

人事考課制度について目的が記載されているが、制度を導入することで達成が可能と考えているのか。

制度についてどの程度具体化されているのか。

職員への説明はいつ頃からどのようにして始めるのか。

田原実 1 糸魚川地域医療の現状と課題について

- (1) 新潟県内他地域と比較した糸魚川圏域の医療状況と県との連携
- (2) 旧姫川病院閉院による市民への影響とその後の行政対応
- (3) 医師不足等への行政対応と医療資源の有効活用
- (4) 確かな医療保健行政と市民への情報開示
- (5) 新型インフルエンザへの対応
- (6) 特定健診制度と市民への影響

## 2 交流人口増大のための施策と戦略について

- (1) 都市農村体験交流事業、子ども農山漁村交流プロジェクトへの対応
- (2) 健康づくり大学事業の成果
- (3) ジオパーク事業の戦略とビジネスモデル構築
- (4) フォッサマグナミュージアムの環境整備
- (5) ジオパーク以外の観光・宿泊施設、文化施設の環境整備（例として英語等のガイドブック整備等）
- (6) 新潟県、県境近隣市町村、交流都市、首都圏アンテナショップとの連携
- (7) 糸魚川地域交流人口の計画数値設定と実現への取り組み

## 甲 村 聰 1 食料自給率向上への対応について

食料自給率向上に向けて、各種事業等の推進について市長の見解を伺います。

- (1) 食料自給率向上に対して基本的な受け止め方について見解を伺います。
- (2) 中山間地域等直接支払制度継続への働きかけ状況について伺います。
- (3) 農山漁村での宿泊体験活動の充実を図るべきであると考えますが見解を伺います。
- (4) 食育の推進を図るべきであると考えますが見解を伺います。
- (5) 地産地消の推進を図るため、契約栽培や商業施設との連携強化について見解を伺います。

## 2 文化財の保護について

- (1) 糸魚川市域にある文化財の保護の基本姿勢について見解を伺います。
- (2) 世界ジオパークを目指すに当たって、文化財の保護・管理の充実を図るべきであると考えますが見解を伺います。

## 畑 野 久 一 1 平成21年度予算編成に当たっての基本方針について

- (1) 平成21年度予算編成に当たって、当市の財政事情に対する基本認識を伺いたい。
- (2) 厳しい財政事情下での重点・優先施策は何か伺いたい。
- (3) 急速に冷え込む産業界と市民生活に対する当市の対策を伺いたい。
- (4) 庁内組織・人事の課題と組織改正に対する考えを伺いたい。

## 2 新型インフルエンザに対する危機管理体制の整備について

- (1) 新型インフルエンザに対する当市の取組状況を伺いたい。
- (2) 仮称「新型インフルエンザ対策庁内連絡会議」の立ち上げめどを伺いたい。
- (3) 職員研修会、行動計画案、対応マニュアル案策定計画を伺いたい。
- (4) 市民へ冷静・確実な情報伝達が大切と思うが市長の考えを伺いたい。

## 3 二級河川前川改修工事の進捗状況について

- (1) 前川の河川改修工事の進捗が遅れていると思うが現状を伺いたい。
- (2) 国交省施工、新潟県施工、JR西日本施工ごとの評価と課題を伺いたい。
- (3) 全体計画として平成21年度完了が至上命題と思うが見込みを伺いたい。
- (4) 平成21年度完了に向けた本市としての当面の課題を伺いたい。

松田 昇 1 公民館体制について

- (1) 市長のマニフェストにある「市民と行政のつながり」の「地区コミュニティサポートセンター」の構想について改めて伺います。
- (2) 公民館体制等検討委員会が開催されているが、協議検討経過について伺います。
- (3) 公民館体制等検討委員会及び庁内委員会における問題点と課題について伺います。
- (4) 今後のスケジュールについて伺います。

2 高齢化が進んでいる集落への取り組みについて

- (1) 昨年の調査によると10年後には高齢化が進んでいる集落は114集落となると予想され、市街地も多くなります。特に中山間地は集落の状態に応じた1年も早い積極的かつ具体的な取り組みが必要と考えられますがいかがか。
- (2) 全地区訪問懇談会の意見や要望を集計・分析をし、実施計画や新年度予算に反映させたいとのことであったが内容について伺います。
- (3) 総務省は、人口減少や高齢化が深刻な集落を巡回し、地域活性化策などを助言する「集落支援員」制度を自治体に導入するため、支援員を雇用する自治体に特別交付税を配分することを決めたとのことですがその内容について伺います。
- (4) 来年4月実施に向けてのバス運行空白地域の取り組みについて伺います。

3 第2期の障害者計画・障害福祉計画の策定と障害者自立支援法について

- (1) 第1期の計画で数値目標及び障害福祉サービスの実績と分析の結果について伺います。
- (2) 第2期の計画で主要な課題となるものについて伺います。
- (3) 今後のスケジュールについて伺います。
- (4) 障害者自立支援法施行後に特別対策が取り組まれ、利用者負担の軽減措置や事業者への激変緩和措置が行われているが、問題点と課題について伺います。

渡辺重雄 1 自治体評価ランキング時代に対応する市政の進め方について

財政健全化法によって「財政健全化の指標」の公表が義務付けされるなど、地方公共団体の財政情報の公開が一層推進され、具体的には、平成20年度決算からは基準を超える団体は財政健全化計画あるいは財政再生計画を策定

し、早急に改善に取り組まなければならないとされています。

財政情報の公開は、必然的に、数字から見た自治体評価のランキング化につながり、地方分権に競争原理が導入されたこととなります。

このほかにも各調査機関では、多種多様な数値データから住民サービスなどのランキングを作成し公開しており、それぞれの地域を知るための1次情報として、多くの方々の参考資料や判断材料になっています。

今後は、今まで以上に自治体の活性化に関する取り組みが激化し、自治体間格差が歴然としてくることが予想されることから、各種ランキングなどから糸魚川市の現状を把握し、より効果的な振興策が必要と考えており、自治体評価ランキング時代に対応する市政の進め方、あり方について、お伺いいたします。

(1) 各種指標、統計から見る財政と行政サービスの現状と分析について

このほど、平成19年度決算における財政健全化の指標について示されましたが、この指標の健全度と今後の見通しについて、さらに「新潟県100の指標」で示された各分野別の市勢に関する受け止め方について、その他、調査機関発行によるランキングに関してどのように分析されているかお伺いいたします。

(2) 県による意識調査、ニーズ調査と振興策について

気になる内の目、外の目ではありますが、糸魚川地域振興局では、「糸魚川地域振興プラン」を策定し2年目を迎え、今後の施策の進むべき方向性を検討する資料とするため「糸魚川市民意識調査」を実施したり、「交流人口の拡大」を重点施策にし、首都圏観光ニーズ調査を行っていることから、市との関連や県の対応についてお伺いいたします。

(3) 行政システムの改善、改革、転換について

今までの行政改革は、自前の処方箋による業務の改善であり、単なる意識改革運動や業務の改善では抜本的な改革は不可能とも考えることから、評価ランキング上位を目指すためには、住民のニーズに立って、民間の経営手法を活用しながら、仕事の仕組みや進め方を変え、組織の体質を変えることが必要と考えますがいかがでしょうか、お伺いします。

猪 又 好 郎 1 新潟国体ソフトボール競技リハーサル大会「第60回全日本総合女子ソフトボール選手権大会」について

糸魚川会場は競技施設、競技運営については良い評価を受けたと聞いている。市を始め各種団体の協力によるものとする。よって、今大会運営で課題となり、来年の国体ソフトボール競技少年男子大会までに改善すべき事項について伺いたい。

(1) 競技施設と競技の運営

(2) 事前の市民への周知と集客

- (3) 糸魚川市の宣伝
  - (4) 監督・選手や応援団などからの感想調査から
  - (5) ボランティア参加者の感想聴取から
  - (6) 国体成功に向けて、今後市としての大まかなスケジュールはどのように  
なっているか。
- 2 高波災害復旧事業の進捗状況について
- (1) 平成18年、19年と2年続きの高波災害で被災した箇所の復旧工事の  
進捗状況を伺いたい。
  - (2) 糸魚川海岸に漂着した人工リーフ資材の撤去の見通しについて伺いたい。
- 3 介護保険制度見直しについて
- 今年度は高齢者保健福祉計画と介護保険計画の第4期計画の策定と計画の  
見直し年度となっている。特に第3期は地域支援と介護予防に重点が置かれ  
介護事業が行われてきた。よって、これまでの取り組みと次期への展望を伺  
いたい。
- (1) 第4期の介護保険料基準額の決め方は「第1号被保険者の平成21年度  
から23年度までの延べ人数及び保険料総額に、所得段階別の負担額を加  
味」して保険料基準額を導くとあるが、これに数値を当てはめていくと  
21年度からの保険料基準額はどのようになるか。
  - (2) 先の公的年金等控除額の引き下げにより、市民税が非課税から課税され  
た人に介護保険料の激変緩和措置がなされていたが、期限切れになる。今  
後どのようになるか。
  - (3) 介護従事者の確保が困難になっていることから、来年度から介護報酬が  
改定されるという。働きやすい環境づくりと仕事を継続できる環境づくり  
のために必要なことと考えるが、介護報酬改定分が介護従事者の賃金を始  
めとする労働条件改善に向けられるよう期待される。保険者として地域の  
介護従事者の働く現場の実態がどのようになっているか承知をしていると  
ころを伺いたい。  
第3期事業計画で「介護給付の見込み」があるが、これに関わる介護  
従事者が適正に配置されていたと判断しているか。  
介護従事者の労働実態について監督機関と話し合ったことがあるか。  
介護従事者の従事者数、正規雇用か非正規雇用の別、平均賃金、労働  
時間、休暇等の労働条件を調査したものがあるか。  
平均勤続年数と離職時の勤続年数を調査したことがあるか。
  - (4) 介護予防の実施による効果の目標があり、予防事業を実施したことによ  
り要支援及び要介護状態にならない予防効果が、平成20年度で対象者の  
20%の目標だったが達成できたか。

糸魚川市の将来にとって、教育の充実が重要な課題であることは言うまでもありません。9月定例会に引き続き、教育の充実への取り組みについて質問します。

(1) 武道教育について

武道が必修化された背景には、礼儀や伝統文化を伝えるという意志があることは衆目の一致するところです。その意図を教育現場で実現するための、仕組みづくりについてどのように計画しているのか。

(2) 道徳教育について

全教員が協力して道徳教育を展開する必要がありますが、実効性のある教育をどのように展開しますか。

(3) 教員の再教育について

OJT（オンザジョブトレーニング＝職場内訓練）の仕組みづくり、体制についてどのような考えか。

(4) 上越教育大学との連携について

上越教育大学教職大学院との連携は、上越市、妙高市では盛んに行われているが、糸魚川市での取り組みはどうか。

2 新幹線開業後に必要な変革について

新幹線駅の開設は、100年、200年に一度の変革のチャンスと言われています。言い換えれば、「変革できなければ、転落の危機を迎える」であります。次の点について伺います。

(1) 2014年の新幹線開通に向けて、どのような変革を行う計画か。

(2) 「世界ジオパーク」認定は、新幹線開通後に必要な変革にとって重要なツールとなるでしょう。

ジオパーク認定後の施策は具体化されていないが、来年秋までの認定見込みを考えると、ジオパークに期待する市民に具体的に概要を示す必要がありますので、次の点を伺います。

具体的な施策

事業費の見込み

交流人口の見込み

経済効果の見込み

3 バス路線改革後の市民の評価と今後の課題

10月1日より市街ループ線の運行を開始いたしました。

広報9月号には、「より利用しやすい路線バスを目指して」とあります。次の点について伺います。

(1) 運行後の市民の評価とそこから見えてくる今後の課題はどうか。

(2) その課題に対してどのように改善していくのか。

- (1) マタニティマークの普及について  
妊産婦の方にマーク入りのキーホルダーとステッカーの配布をすべきと思いますがいかがか。
  - (2) ブックスタート実施について  
「読み聞かせ」の意義を保護者に十分理解していただき、未来をつくる子ども達へ当市からの出産祝いとして実施すべきと思いますがいかがか。
  - (3) 子どもの読書環境の充実について  
「子ども読書活動推進計画」はどのようになっているか。  
「読書のまち糸魚川」を宣言し、読書で心の豊かさを育てる街づくりを推進すべきと思いますがいかがか。
  - (4) 国民健康保険出産育児一時金受領委任払制度の協定締結医療機関について  
上越市等に拡大をすべきと思いますがいかがか。
- 2 安全安心な生活環境について
- (1) 一般廃棄物処分場について  
動物等の死骸の処分をどのようにしているか。  
防火水槽設置の進捗状況はどうか。  
飲料水整備の進捗状況はどうか。  
自家用車等で持ち込まれるごみの分別状況はどうか。  
バックホウ等の重機拡充はどうか。
  - (2) 糸魚川市清掃センターの臭気について  
周辺住民の声として、夏場の臭気で吐き気がしたと聞いております。現状の認識と今後の対応はどうか。
  - (3) 街灯設置について  
海川中央橋を挟んで、西側東側ともに街灯がありません。その周辺にスーパーや病院、公共施設などがあり、歩行者も多いことから安全上整備をすべきと思いますがいかがか。
- 3 がん患者の闘病支援について
- (1) 抗がん剤治療の副作用として脱毛が起こります。経済的に余裕がない方はがんと闘いながら働かなくてはなりません。特に女性の場合、脱毛は精神的苦痛が大きいと言われております。患者にとってかつら購入は高価です。そこで、かつら等の購入支援制度を設けるべきと思いますがいかがか。
  - (2) 市内病院等と連携をしてかつらの貸出制度が設けられないか、協議をしていただきたいかがか。
- 4 定額給付金と中小企業支援策について
- (1) 「定額給付金」について、どのような期待を持っているか。
  - (2) 「定額給付金」のプロジェクトチームを早急に立ち上げ、準備に万全を尽くすべきと思いますが、今後の対応はどうか。

- (3) 金融危機による地域経済への影響、特に中小零細企業への影響をどう認識しているか。また、10月末から始まった緊急保証制度について、どのような期待を持っているか。
- (4) すべての業種を対象とした、責任共有制度の対象外とした100%保証や一定期間無利子とする利子補給制度などに取り組んでいる自治体がありますが、年末、年度末に向けて、一番困っている中小企業、零細企業のための支援策はどのようなものか。
- 5 選挙投票所と有権者対応について
- (1) 投票所のバリアフリー化について  
高齢者の中には足や腰に不安のある方が増えています。投票所が2階にあるということは、高齢者にかかる負担が大きいと思います。知事選の際には数か所あったと聞いておりますが今後の改善策はどうか。
- (2) 有権者に対する職員の対応について  
昨年参院選で期日前投票に来た方に「わざわざ市役所まで来なくても、投票日に行けばいいのに。」と職員に言われたそうです。また、昨年の参院選では代筆で良かったものが、今年の知事選では代筆を申し出ているのに、左手で書かされたそうです。どちらの方も大変な不快感を覚えたそうです。どのような指導をされているのか。

新保峰孝 1 景気・雇用対策について

- (1) 市内の景気動向をどのようにとらえているか。
- (2) 非正規雇用を始めとした雇用状況の悪化が報じられているが、市内の状況をどのようにとらえ対応しているか。
- (3) 市民のくらしと雇用を守るしっかりした姿勢で、福祉の充実や景気・雇用対策を講じる必要があるのではないか。
- 2 介護施策の充実について
- (1) 高齢化が進み、介護を要する方たちが増えているが、介護の要望に対応できているか。
- (2) 特別養護老人ホームの入所希望者の推移と現状はどうか。
- (3) 国の療養病床削減や姫川病院倒産などによる介護分野への影響をどのように考えているか。
- (4) 施設介護についてはどのように考えているか。ショートステイ等、在宅介護の要望に応えるための量的拡大が必要ではないか。
- 3 ケーブルテレビ整備の再提案について
- (1) 上越ケーブルビジョン株式会社(JCV)の再提案で、平成22年度にJCVによるケーブルテレビ整備と市の公共ネットワークを一体で整備したいとのことだが、現在の光回線も含めた公共ネットワークで不足するものはあるのか。

- (2) J C Vに、なぜ加入金約2億円を助成するのか。
  - (3) 糸魚川・青海地区で仮申込み6割、8,580件の確保ができなかった場合、ケーブルテレビは断念するのが当然と思うがどうか。要件が満たされなかった場合、J C Vは事業を先送りするとはどういうことか。
  - (4) 今後、景気と雇用状況の悪化がさらに進むことが予想される中で、ケーブルテレビの整備は止め、市民のくらしと雇用を守ることに力を入れたらどうか。
- 4 住民の足の確保について
- (1) 糸魚川市街ループ線の新設、病院バスの廃止等、10月から改正されたバス運行の運行状況はどうか。
  - (2) 運行便数の減少やまわり方の変更が、通院等に支障をきたしていることがあると思うが、苦情やその改善のための対応についてお聞きしたい。
  - (3) バス路線から外れた地域の対策は検討しているか。
  - (4) 高齢者へのバス代補助の地域間格差をなくすためにもシルバーバスを導入したらどうか。

鈴木 勢子 1 さんさん子育てサポート事業の課題について

子育て支援の一環としてスタートしたこの事業は、市内協賛店の参加協力なくしては展開されず、課題も生じてきました。そこで次の点についておたずねいたします。

- (1) これまでの条件を緩和し事業の拡大を図っているが、子育て中の市民の声をどのように把握しているか。
  - (2) 景気低迷の昨今、協賛店の負担だけで、市独自の子育て支援事業とはいえない点も多く苦情が生じているが、現状をどのように把握しているのか。
  - (3) 新年度には協賛店への補助金や税制上の優遇も考慮した事業の展開をすべきではないのか。
- 2 市内路線バスの運行と高齢者交通費助成について
- (1) 10月1日から市内路線バスのダイヤ改定により、糸魚川総合病院への通院バスが廃止された中で、市街ループ線が新設されたが、利便性の向上が十分に図られているのか。
  - (2) 12月1日からの3路線（西海・能生・青海線）の一部変更はどのような背景で決められたのか。
  - (3) 広報「おしらせばん」では変更に伴い「該当地区に回覧する時刻表を確認ください」と明記され、その回覧板では変更時刻が表示されているが、利用者には不親切な対応ではないのか。せめて時刻表を必要としている世帯を募り配布してもよかったのではないのか。
  - (4) 高齢者交通費助成の見直しが検討されているようだが、生活福祉の切捨

てとまらないような配慮をすべきではないのか。

### 3 高齢者運転免許の自主返納について

65歳以上の市民に免許証の自主返納を呼びかけ、市内タクシー運賃の割引を行っています。これはタクシー業界の負担だけではありません。

本来の目的達成のためには先進地の事例も参考に入れ、市も補助金を出して割引率アップを図るべきではないのでしょうか。

### 4 日常生活自立支援事業の拡充について

日常生活に不安がある高齢者や、障がいのある方を対象としたこの事業は、社会福祉協議会で行っている県委託事業でもあります。相談から契約まで、生活保護世帯の方は無料ですが、その他の方は1時間1,000円の個人負担があり利用は限られています。

高齢者世帯も年々増加する中で、自立支援の目的に沿って市も補助金を出して事業の拡充を図るべきではないのでしょうか。

### 5 市職員の資質向上と市民サービスについて

1市2町の合併から4年目になり、市民から見た市職員は行政の専門家でもあります。多様な苦情も寄せられております。新しい時代に向けた意識改革が求められている昨今、外部評価制度もない中で職員の資質向上はどのように図られているのでしょうか。

タテ割り行政の弊害の多い中で、当市は部制を導入しましたが、市民サービスが向上しているのでしょうか。